

加西ふるさと夏ミーティング 2012 質問等一覧

校区名		開催日時・場所	参加者数	
賀茂小学校区		7月4日(水) 18:00 ~ 20:40 賀茂会館	1部:17人 2部:41人 合計:58名	
第1部				
No	第5次総合計画 施策分類	意見概要	市の回答など	
			回答者	内容
1	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	通学や帰宅時で、子供の事故や犯罪発生の心配が尽きない。交通量の少ないところを通過して通学しているので、犯罪が心配。抑止力の意味を込めて、防犯カメラを設置してくれないか。	ふるさと創造部長	通学路については、各小学校区に300万の整備費の予算を組んだ。十分な金額だとは思っていないが、地域の区長さんとPTAの方で話し合っていたら、危険箇所の優先順位を作ってもらい、それを受け市で対応していく。
2	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	通学路にわざと段差を作って、強制的に減速させるような工事はできないか。	ふるさと創造部長	図面等を区長さんに渡しているので、PTAの方々も積極的に関わっていただきたい。また、新たに危険箇所があれば、追加して報告していただきたい。橋でも危険な部分もあるので、それも追加であげてもらっても良い。
3	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	歩道の数が少ない。市の中心から外れると余計に感じる	ふるさと創造部長	調査報告を受け、着手できていないところを把握し、翌年以降に反映させていきたい。
4	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	中学1年生は、4月から初めて自転車通学をする。荷物が多くふらついて危ない。通学路に自転車を通れる歩道を整備してほしい。	教育長	今、現在の通学路地図を区長にお渡ししている。通学路とは、個々の家から学校まで通道のことを言う。集団登下校をしているので、一番集まりやすい場所(集合場所)から学校までからをひとつの道筋を通るように、また中学生は集団ではないので、家から通学するにあたり、個々で通るのではなく、多く

				の学生が同じ道を通るように指導している。
5	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	通学中に増水した橋を渡るとき、危ないと感じることがある。危険であることを周知できるようにならないか。	教育長	通学路は、まず保護者が決定する。それを学校へ報告し、学校は安全性を確認する作業をする。それでOKであれば、教育委員会へ報告する。教育委員会が承認して確定する。通学路をこころろ変えることは望ましくない。集合場所から自宅までは自己責任となる。
6	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	幼稚園の長時間部の保育料について。安心して預けられる保育園を。	教育長	幼児教育については、県については第3子、市では第2子から補助をしている。保育園も経営をしていかなければならないので、どんどん安くはできないことをご理解いただきたい。
7	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	子供の減少で、小学校は存続していけるのか不安。中学校になっても人数はそんなに増えない。教育面で心配。	教育長	賀茂地区は、市内でも幼児教育が一番高い水準であると認識している。保護者の生活水準の差が無く教育を受けられる。保育園は保育に欠けるという条件があるので、高くするのは難しい。短時間長時間の子供が一緒に過せる環境も大事だと思っている
8	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	将来、この子供の数で賀茂小学校でいろいろな行事ができるのか不安	教育長	36人から2学級。中学は41人で2学級を設置となる。2学年で15名を切らない限り、複式学級にはならない。複式学級はやはり教育面では不都合が発生する。しばらくの間は、大丈夫だが先を見据えた対策をしないとイケない。
9	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	小学校のトイレが汚い。和式であり、戸が壊れているらしく、子供がトイレを我慢するのは良くない。衛生面での整備はできないか。	教育長	小中学校の耐震工事をする中で、トイレも修理する。
10	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	通学路の点検をしたが、交通量が多く危険なところは、旗を持って建っているが、家が建ったり塀ができたりして、新たな危険箇所ができていく。どう対応したらよいか。		

11	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	子供が6人いるので、無料化は助かる。子供が大きくなって、住みよい加西に帰ってきて欲しいという思いはあるので、活気ある加西市であってほしい。		
12	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	加西市で住むとなると水道代は検討するテーマとなる。加西市は高いイメージがある。	市長	水道代が高いというイメージを変えていかないけないと思っている。
13	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	20代30代の人が働ける環境があれば、帰ってくるのではないかと思う。	市長	大学で加西市を離れている方に、市内の企業をPRしようと、小学生とその保護者とで、市内の企業を回るツアーを組んだ。すでに定員を超えて応募がある。加西市の企業は優秀な企業が多いということを広めないといけないと思っている。
14	地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	大学生の子を持つ親としては、加西に帰ってきて欲しいと思うのが親心。加西市の就職支援もしてほしい。	市長	商工会議所のHPでPRを始めている。工業団地は、ほとんど埋まっている。加西市の現状を市民の皆さんに認識がない様に感じている。
第2部				
15	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	雨で、ため池や山に水が溜まり、土砂が流れ川を堰きとめ床下浸水が発生した。山も池も民家に近く、危険箇所が多い。危機管理として何か地元で財政的な補助が無いか。土嚢作りや消火器の使い方などの講習会を実施した。災害が起こる前に対応をしていく準備が必要ではないか。	市長	地元で土嚢袋等をお渡しして、地域で準備をお願いしたい。取り組むべき課題箇所を市もきちんと把握し、治山事業等の補助も受けながら対応していきたい。地域のみなさんが、今どこが危険なのかを把握していただきたいと思っている。
16	健全な行財政運営の確立	災害にあった土砂崩れ部分がまだ治っていない。いつになるか。	副市長	担当に確認します。
17	健全な行財政運営の確立	災害復旧事業の内、国庫補助対象になるものと加西市の補助だけのものはどこで区別されているのか。	副市長	復旧費用によって分けられる。災害箇所が多く、担当からきちんと説明できていないことはご容赦願いたい。

18	健全な行財政運営の 確立	後追い政策ではなく、一歩先行く政策を取り組んでもらいたい。	市長	地域ときちんと話し合いをしながら進めて行きたい。
19	身近な幸せを実感で きる安全と安心の暮ら しづくり	郵便局から横田町へ抜けていく道と県道との交差点の改良をお願いしたい。	ふるさと 創造部	対象となる方の交渉について、また地元も協力をお願いします。
20	身近な幸せを実感で きる安全と安心の暮ら しづくり	福住川に土砂が溜まっており、大きい雨が降るとすぐに水位が上がり溢れそうになる。流木もありなんとかできないか。		
21	明日を担い未来へつ なげる人づくり	資料の年齢別子どもの数ですが、非常に少なくなっている。仲人制度や雇用の創設をお願いしたい。奇抜な案を出して欲しい。	市長	現代風の仲人制度を作っていく必要もあるかと思っている。県でもコウノトリ事業を展開しているが、広域なので、加西市に効果はあまり出ない。
22	明日を担い未来へつ なげる人づくり	三世代交流とかすると、集まるのでは子どもと年寄り。若い世代の子は参加しない。独身の人が集まる機会を作らないといけないと思う。		
23	明日を担い未来へつ なげる人づくり	コンサート会場のような若い子が集まる場所が無いのが問題ではないか。		
24	明日を担い未来へつ なげる人づくり	未婚者が多い。その人が結婚できる制度がない。	市長	結婚して市外に出ている者が多いという認識なので、水道料金等の子育て世代へのPRをしていく。
25	都市の魅力と快適さを 高めるまちづくり	4つの工業団地の企業に勤務する方に、加西市に住むようにPR活動をしてはどうか。	市長	地縁者住宅・新規居住者区域を作る必要があると思っている。
26	明日を担い未来へつ なげる人づくり	市長が意見を聞いてというスタンスだが、市長からこうしたという発言が欲しい。	市長	謙虚に受け止めたい。
27	住民参画・男女参画	意見を言える規模、小学校単位で開かれて、問題が身近		

	で地域を元気にする 加西	に感じれて良い。具体的なテーマがあって話ができるとう うがいい。事前に資料提供があると良い。今までと違う形 で開いていただきたい。		
28	都市の魅力と快適さを 高めるまちづくり	住宅用地の開発(県の事業などを利用して)と企業へのP R	市長	パナソニックでは、市内に住むように誘導をしてもらっている。 しかし、北条に住宅が無いのが現状。
29	明日を担い未来へつ なげる人づくり	ラジオ体操の町づくり、健康づくりをしてはどうか。		